シャーン・インクィジティブ

紅籠手連隊、シャーンで再会

ニュース・フォー・サル：イール，１５，９９８ＹＫ

デイヴィット・ヌーナン著

シャーン発：紅籠手連隊の生き残りのメンバーがケンルンの戦いの５年目の記念日を祝うために、今週シャーンに集合しました。

紅籠手連隊は最終戦争の最後の期間にブレランドのために戦った傭兵で構成されており、ケンルンの戦いにおけるブレランドの勝利に貢献しました。その戦いの間紅籠手連隊の部隊がサイアリの戦線の増援の役目を担っていた３つの重装備の旅団を足止めしたため、ブレランド軍の第２１騎兵部隊が戦線を突破して東ブレランドを解放することに成功したのでした。紅籠手連隊はさらに９８０ＹＫ年代のグレイウォール城塞と、ブレランド軍が本来のブレランド／サイアリの国境までサイアリ軍を追い返すことに成功した９９２ＹＫの「大襲撃」でも高名をはせました。

紅籠手連隊はデイ・オヴ・モーニングの日に軍と戦っていたため、今では１００人に満たない退役軍人しか生き残っていません。紅籠手連隊の連隊旗はロートにあるアタラスの墓に掲げられて、デイ・オヴ・モーニングの日に犠牲となったブレランド人に捧げられています。

この再会を祝ってボラネル王は「紅籠手連隊の隊員をブレランド陸軍の名誉隊員とする」という皇室声明を発表しました。紅籠手連隊と正規軍の関係は、良好ではないことがしばしばあったため、この声明は重要な意味を持っています。

最終戦争の間紅籠手連隊と契約し続けた少数のオーナーがいるデニス氏族も、次のサルに紅籠手連隊の名誉をたたえて軍旗衛兵儀式を計画しています。当日ブレランド中のデニス氏族の兵士は、勇敢な退役軍人の名誉をたたえて紅色の手袋を着用します。

「儀式と宣言にはとても感謝しています。」と紅籠手連隊のダリウス・パイク軍曹は話しました。「しかし紅籠手連隊の会合は９９４ＹＫのサイアリから決して戻らない隊員を偲ぶために行っているのです。私がたまたま生き残ったのは望んでいなかった冬期任務に、９９３ＹＫに割り当てられたために過ぎないのです。」

「私は、家族のことよりも、自分の小隊にいた３０人の仲間のことを知っていました。」とパイクは続けました。「そして私のすべての仲間は家族のようなものでした。今ではその中のたった３人しかいないのです。そのため我々は、どこかの霧の中をさまよっている他の１４０人の兄弟のために、ジョッキを掲げるのです。」

著者について

デイヴィット・ヌーナンは、ウィザード・オヴ・ザ・コーストのデザイナー兼デヴェロッパーです。ウィザード・オヴ・ザ・コーストに入社する前、彼はワシントン州の日刊新聞のリポターとして働いていました。彼が市当局を打ち負かす訓練をしたことは、***『エベロン・キャンペーン・セッティング』***にとっては、明らかに良いことでした。

©1995-2005 Wizards of the Coast, Inc., a subsidiary of Hasbro, Inc. All Rights Reserved.
ウィザード・オヴ・コースト社の所在地：Renton, Washington, PO Box 707, Renton, WA 98057.

オリジナルのダンジョンズ・アンド・ドラゴンズのゲームは、Ｅ・ゲイリー・ガイギャックス、デーヴ・アーネソンによってデザインされました。その後、オリジナルを基にしたダンジョンズ・アンド・ドラゴンズの新版は、ジョナサン・トゥート、モンテ・クック、スキップ・ウィリアムス、リチャード・ベイカー、ピーター・アドキソンによってデザインされました。Ｄ＆Ｄ、ダンジョンズ＆ドラゴンズ、フォーゴットン・レルムは、ウィザード・オヴ・コースト社の登録商標です。ウィザード社のすべてのキャラクター、キャラクターの名前、肖像画は、ウィザード・オヴ・コースト社の登録商標です。この資料は、アメリカ合衆国の法律によって保護されています。ウィザード・オヴ・コースト社の許諾書なしでの本資料の製品化や、ここに含まれている資料や図画を無断で使用することは禁止されています。この製品はフィクションです。実在する人物、組織、場所、または出来事と類似していることがあっても、それは純粋な偶然にすぎません。このウィザード・オヴ・コーストのゲームにはオープン･ゲームの内容は含まれません。この資料のどの部分も許諾書なしで、どのような形であれ編集してはなりません。オープン･ゲーム・ライセンスとＤ２０システムに関するさらに詳細な情報を得るためには、わたしたちのＷｅｂサイト、www.wizards.com/d20 を訪れてください。
(C)2001-2005 Wizards of the Coast, Inc. All rights reserved.

わたしたちのＷｅｂサイト、www.wizards.com/dnd を訪れてください。